

犬山白寿苑だより

梅雨明けの暑さもひとしお、海や山から夏の便りが届き始めています。本格的な夏の到来に向けて、体の準備は万全でしょうか？

七月二十四日は、土用の丑の日です。皆様、ご存知のとおり土用の丑の日には鰻を食べる習慣があります。江戸時代に平賀源内が、鰻屋のキャッチフレーズとして考案したことが全国に広まったそうです。

また、万葉集にも

『石麻呂に 吾物申す

夏瘦せに よしと云ふ物ぞ

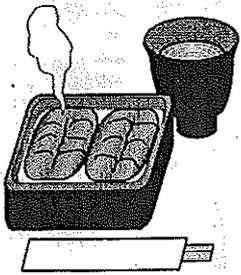
うなぎ取りのせ』

という大伴家持の歌が綴られています。

昔から夏バテに負けない様、この時期から体にスタミナを着けておくために、栄養価の高い鰻が好まれてきたのでしょうか。

七月二十四日は、白寿苑の食事メニューでも鰻が出ます。

おいしい鰻を食べて、夏の暑さに備えましょう。



入所申し込みについて

入所申し込みに際して、「今、申し込むといつごろ入れますか?」、「あと何人待ちでしょうか?」といった質問をよくお聞きします。犬山白寿苑では、介護が必要な方の緊急性を考慮して入所の順番を決めています。

- ① 介護度 (要介護5が一番高い)
- ② 住居環境 (介護が受けにくい環境等)
- ③ 介護をしている方の状態 (高齢者世帯等)

以上を客観的に点数化し、施設で組織されている入所委員会 (施設職員・民生員等) で入所の順番が決定されます。

ご自宅での介護は、ご本人、ご家族にとっても大変なことです。デイサービスやショートステイ、訪問介護や訪問入浴を利用しながら、介護負担の軽減を図り、緊急性が高まった際 (要介護が高くなった、介護する家族の状況が変わった等) は、その都度ご連絡いただければと思います。

Aユニットだより

寿考館Aユニットでは、誕生日を迎えられる利用者の方に、バスデーフリープランを実施しています。

先月実施されたプランのエピソードをご紹介します。Yさん(女性)の望みを伺い、一年振りに「自宅へ帰ることになりました。前日には、早く帰りたくて待ちきれない」様子で、夜もなかなか眠れなかつたようです。

当日は生憎の雨模様。出発前に「主人さまが苑まで来て下さり、一緒に昼食を摂り、午後一時に苑の車で自宅へ出発しました。三十分程で自宅に到着し、家の前で懐かしさを味わっていると、近所の方が「久しぶりだねえ。分かる?元気にしてた?」と声をかけてくださり、久しぶりの再会ができました。

家の中では、座椅子に座ってテレビをご覧になられ、お昼寝をしましうくらのんびりされ、旦那様との時間を満喫されました。帰る時間になると、家が恋しく、とても悲しそうな表情をされていました。

車で三十分かかる道のりを、旦那様はいつも自転車でYさんに会いに来て下さっています。感謝の気持ちYさんへの愛情を感じました。

今回バスデーフリープランということで自宅へ一年振りに帰ることが出来て、本当に良かったと思います。

現在、苑にももりがちになっていますが、こういった外出する機会を多く作り、気分転換でき喜んでいただけるようにしたいと思います。



天遊会様 慰問 Cユニット

皆様は音楽が好きでしょうか…?

カラオケ場では気持ちよく歌う人、その歌声を側で聞く人、その様子を見ている人がいて、ひとつの時間を一緒に過ごしていますね。そんな楽しい時間が私たちの生活には大切だと思います。

「C」白寿苑でもカラオケ天遊会様の慰問があり、寿考館二階では利用者さんの心地よい歌声がフロア中で流れていました。

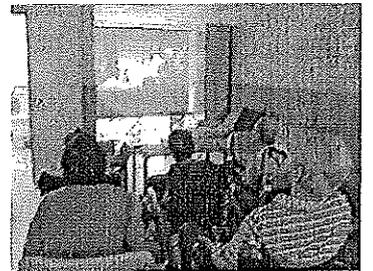
Cユニットには歌が大好きな利用者さんがみえます。普段から、入浴時など大きな声で『リンリンの歌』を熱唱されています。

当日も「天遊会の慰問があるよ」と誘うと、早速最前列に座り、知っている曲が流れると歌の先生よりも大きな声で楽しげに歌ってみえました。私たち職員もその声のポリウムにびっくり。日頃お腹に溜まっていたうんがが晴れているようで、気分スッキリされたのではないかと思います。

音楽は人の心を豊かにするようです。これからも、カラオケなど楽しい時間を通して利用者さんと職員で和をつくりあげたいと感じます。

映画鑑賞会

Eユニット



Eユニットでは先日、ホームシアターセットを使い、映画鑑賞会を行いました。

映画の内容は渥美清主演の「男はつらいよ」です。利用者のみなさんがお若い頃から続いていた人気シリーズのせいもあり、いつもはお部屋から出たがらない方も声をかけると、すんなり喜んで参加して下さいました。

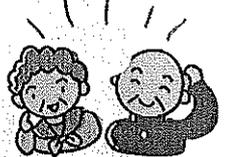
上映中もみなさん真剣です！この映画のおもしろさ、そして昔なつかしい思い出などを思い出されていたのでしょうか。本当にみなさんが喜んで下さいましたので、私たちも嬉しい限りです。こうした時間を少しずつ増やし、提供していくことができればと思っています。

これから花火大会や、八月には盆踊り大会が開催されますが、その他にもみなさんに楽しんで頂ける行事を、年間を通して計画していきたいと思えます。



いつまでもおしどり夫婦で

Eユニットだより



早いもので寿考館を開設し、一年が経ちました。昨年は様々な出来事もあり、あつという間に過ぎました。利用者の方も一年という時間も手伝って毎日の生活を落ち着いて暮らしてみえます。

Eユニットでは夫婦おそろいで暮らしてみえる利用者の方がみえます。毎日時間があるとどちらかのお部屋に行かれ、仲良くお話されていたり、奥様のご主人様のお世話をされていたりと、見ている私たちの気持ちはとても温かくなりますし、夫婦のあり方を教えられています。

結婚して何十年と一緒に暮らしてきたからこそ築かれる絆もあるでしょう。しかしお二人を見ていると人間は助け合う事と協力する事、そして思いやる心が大切だと痛感いたします。また、これからがお二人にとって一番穏やかに、ゆっくりと過ごして行ける時間だとも思います。

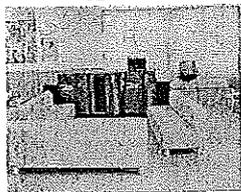
（寿考館では、ご夫婦で入所できるよう居室をご用意しております。）

決算書類の開示について

平成十九年度 決算書類の閲覧をご希望される方は、犬山白寿苑事務所までお申し出下さい。

デイサービスには海津市の畑様からご寄付を頂きました3000曲入ったカラオケボックスがあります。レクリエーションの一つとして月に何度かカラオケを行います。演歌、民謡、童謡、軍歌など、さまざまな曲が入っており、中でも「さざんかの宿」「北国の春」「黒田節」などが人気曲です。日頃、歌うことがあまりない利用者の方もカラオケの日はマイクや鈴、タンブリンを持って参加して下さいます。

先週のカラオケでは「炭坑節」に合わせて職員と一緒に踊る方もいらっしゃいました。そしてカラオケ最期の曲はいつも「ラバウル小唄」です。戦争時代の苦しいことを思い出しながらも、今では懐かしい曲の一つとしてみんなで楽しんでいます。



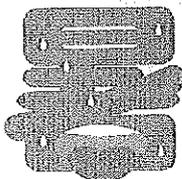
医務室から

『高齢者の脱水について』

年をとると体の衰えなどのため、体内の水分が不足しがちです。また、のどの渇きを感じにくくなり、体内の水分が減少しているのに水が欲しくならず、水分が不足することもあります。排泄の心配から自ら水分を摂ろうとしない人もいます。このようにお年寄りには水分量が不足する「脱水」の状態になりやすいので、汗をかく夏には特に注意が必要です。脱水になると血液がドロドロになり、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こす危険が高くなります。普段湿り気がある脇の下が乾燥する、脈が速くなる、唾液がネバネバする、尿の色が濃い等の異常が見られたら脱水症の可能性があります。早めに医師の診察を受けましょう。

脱水を起こさないようにするには、一日1.4リットル2.0リットルを目安に定時の水分補給を習慣にすると良いでしょう。

具体的には起床時、朝食時、午前10時、正午、午後3時、午後5時、夕食後、就寝前に各200cc(大きなコップ一杯)の水分補給をしましょう。



七月予定行事

- 七月十六日 雅鳥様慰問(尚)
- 七月十八日 川柳教室
- 七月十九日 音楽療法(濫)
- 七月二十日 花火大会(Dユニ)
- 七月二十二日 菓子販売(濫)
- 七月二十三日 床屋さん(寿)
- 七月二十九日 菓子販売(濫)
- 七月下旬 花火大会予定(Eユニ)
- お菓子作り予定(Eユニ)

毎週水曜日……囑託医往診

月・水・金曜日……歯科往診

月・水・金曜日……マッサージ往診

ボランティアさん募集します

ご利用者の娯楽、心身のケア、苑内外の美化活動など多くのボランティアの方々にご来苑頂き、誠にありがとうございます。

当苑では利用者様との話の相手や、手芸のお手伝い、施設内外の清掃活動などご協力頂けるボランティアさんを随時募集しております。特別な技術や資格は必要ありません。得意な分野や興味のある活動を選んで参加して下さい。詳細等お聞きになりたい方はご連絡下さい。

担当者 東

〒484-0000 愛知県犬山市字洞田 30 番地 1

TEL : 0568-67-6699

(ナーシングホーム・ショートステイ・デイサービス)

TEL:0568-67-6684

(ケアマネージメント・在宅介護支援・地域包括支援)

FAX : 0568-67-8910

(全 大 山 業 所 寿 共 苑)

E-mail:hakujuen@vega.ocn.ne.jp

HP:http://www.Seirinkan.ed.jp/hakujuen/index.html

ナーシングホーム(特養)犬山白寿苑

デイサービスセンター犬山白寿苑

在宅介護支援センター
犬山白寿苑



地域包括支援センター
柴田地区サブセンター

犬山白寿苑 ショートステイ

犬山白寿苑 ケアマネージメントセンター

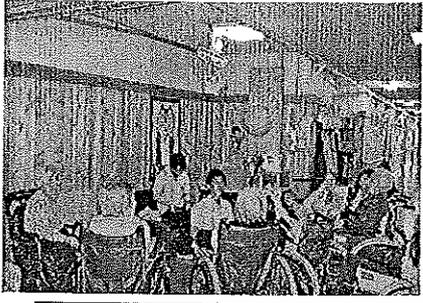
犬山白寿苑

濫觴館には現在、五十四名の利用者さんが生活してみえます。朝の起床から一日が始まり、食事・入浴・毎週火曜日の菓子販売・月に一回の喫茶・居酒屋。居室にて横になりくつろがれたり、テレビを見たり、新聞を読まれたり、気の合う利用者さん同士で会話されたり、私達介護職員とおしゃべりを楽しんだりと個々に好きな時間を過ごされています。

そんな中、無理なく体を動かし楽しんで行えるレクワークは、利用者さんにとって重要な活動だと思えます。

先日、ふとした時にちよつと時間がとれ介護職員も交えて、風船パレーを行いました。利用者さんと私達介護職員。利用者さんの生活の一部にリハビリを兼ねた遊びや、体を動かす時間がとれお互いのコミュニケーションの

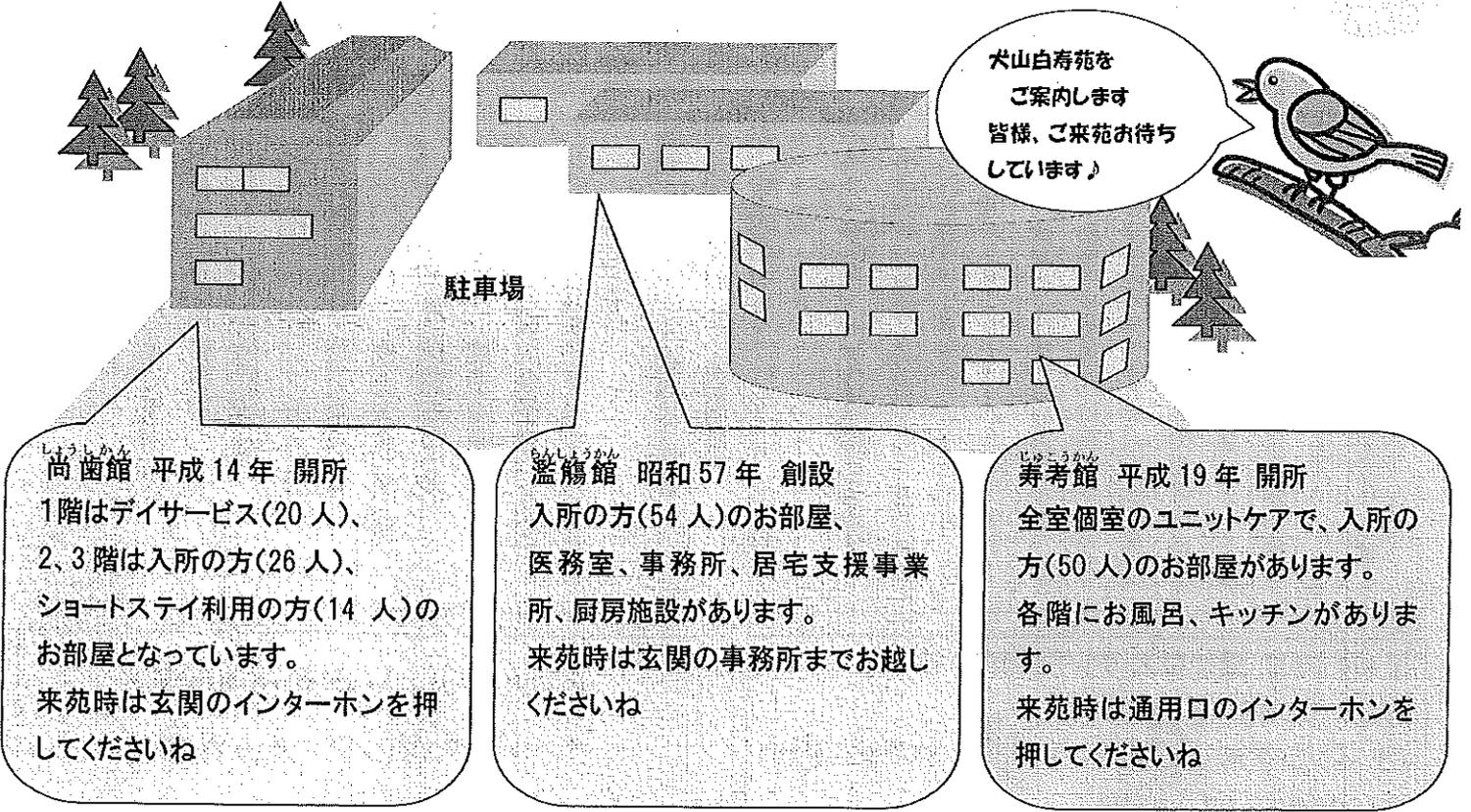
場となるような空間ができればと日々、考えさせられます。



去る六月二十日(金)に入所者五名と職員・実習生で名古屋港水族館へ行きました。ここ白寿苑では毎年一、二回ほど水族館へ行っており、皆様が外出する事を楽しみにされています。外出する機会は少ないですが、その分、一度の外出で良い思い出を残して頂けるように計画し、実施しています。

今回、水族館に行かれた方達も満面の笑みを浮かべて、好きなお魚や海の生き物を見て、楽しい時間を過ごされたように思えます。

いろいろな場所に出掛けることで、地域の方々との交流を深めたり、その方の社会への関心度を高める事にも繋がるので、こういった行事はずっと続けていきたいと思えます。そうすることで皆様の笑顔を守って行くことが出来ると思えます。



来月(8月23日)には、恒例の白寿苑夏祭りが行われます。
その前に白寿苑の建物、各事業所の場所を図式化してみました。
施設見学、案内は随時受け付けております。ご来苑時にお気軽にお申し付けください。